慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	呉服専門店“京華苑”の事例研究
Sub Title	
Author	橋本徹(Hashimoto, Tooru) 片岡一郎
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1980
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001980-0098

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

No. 0098

学生氏名　橋本　徹　　主査　片岡一郎　教授
副査　嶋口充輝　助教授
和田充夫　助教授
所属ゼミナール　片岡一郎研

呉服専門店“京華苑”の事例研究

当論文は、衰退産業と一般に分類される呉服についてその小売市場に参入3年目を迎えた呉服専門店“京華苑”の小売店としての強化策を提示することにある。

論文構成は　1. 呉服専門店“京華苑”のケース　2. 呉服業界に関するノート　3. 分析の計3部よりなる。

第1部のケースでは、なぜ呉服小売市場に参入したか過去の経緯を示した後、京華苑のマーチャンダイジングを明らかにして、現在の問題点や競合の状況等を扱い、最後に短期・長期での経営戦略を示している。

第2部の業界ノートにあっては、呉服という長い伝統を持つ商品が、現在どの様な状況で生産され、流通チャネルをどの様に流れているか示した後、最近の呉服販売の傾向や消費の特徴をも明らかにしている。勿論、これらのことは全てケース分析の参考となるものである。

第3部分析では、長期・短期の経営戦略を評価した後、これらの斉合性を吟味し、最後に目標達成の為、現状のマーチャンダイジングの改善点を指摘している。